

## 令和元年度第1回物部川清流保全推進協議会幹事会 議事要旨

開催日：令和元年6月6日（木）

場所（時間）：高知県香美農林合同庁舎1階 大会議室（10:00～11:50）

出席者：【幹事】17名（代理出席含む）

【事務局】環境共生課 3名

【その他】随行者多数

### 議題1 平成30年度物部川清流保全推進協議会の取組について（報告）

事務局より、資料1、参考資料1、参考資料2、参考資料3に基づき説明

#### 【主な意見】

- ・代かき濁水対策について、濁水時は特に影響が大きいので引き続き進めて欲しい。この取組を物部川だけでなく、県内に広めて欲しい。  
→四万十川流域でも取り組んでいるが、引き続き、取り組む。
- ・昔は、水量が少ないときはアユが泥くさかった。最近は、軽減されているように感じる。家庭排水や農業濁水の取組の効果が出ているのではないか。引き続き取り組んで欲しい。

### 議題2 令和元年度物部川清流保全推進協議会の取組について（協議）

事務局より、資料2に基づき説明

#### 【主な意見】

- ・普及啓発活動に物部川キャラクター（参考資料4）を活用してはどうか。  
→今後の普及啓発活動等に活用することとする。
- ・資料1、資料2について、体制等の記載が異なっている。  
→資料1の体制に基づき令和元年度も実施する。資料を修正し、総会の資料とする。
- ・川の近くにある学校は、環境教育に関心がある。一方、遠い学校は関心が薄い。今後の環境学習の学校の掘り起こしの際には、関心が薄い学校への働きかけをお願いしたい。
- ・森林組合でも森林環境教育を実施しており、指導できる職員もいるため、協力できる部分がある。実施内容も組合内で取りまとめているため、紹介できればと考えている。  
→本年度、相談先リストを作成する計画。その際には、協力をお願いする。
- ・代かき濁水対策の中で実施するアンケートについて、分析方法などはどうされるのか。  
→今回は、アンケートがどの程度回収できるのか未定である状況。分析や次回のアンケートを実施する際は、助言いただきたい。

### その他（情報共有・意見交換等）

- ・ダムのある川は、ダム下流では河床低下、上流では堆砂が進んでいる。河川環境にとって必要な大きな礫を下流部に戻してもらいたい。

- ダムがある川は、土砂の移動で同様の課題がある。試験的に奈半利川でサンドバイパスの取組をしている。視察なども対応できる。
- ・サンドバイパスなどを検討する時、奈半利川と物部川は同じ状況ではないため、下流の状況を見て検討して欲しい。
  - ・森林整備に関する新法について、今後のことになるが、崩れやすい流域でもあるので気をつけて実施してもらいたい。
- 国有林改正法は、経営を民間事業者任せではなく、一定区域の樹木採取権を民間事業者にお願ひするものであり、再造林も権利を有する民間事業者に対して申し入れを行い確実に行うこととしている。
- また、区域設定の際には地元の意見を伺い、合意を得たうえで実施することとしている。
- 民有林は、所有者が整備できない森林は、森林環境譲与税を活用して市町村が実施することになる。市町村によって状況が異なるため、流域での対応は現時点ではわからない。
- ・今年のアユの遡上量は、例年の3分の1程度。来年の稚アユ確保のための、親アユの量が不足する可能性が高いため、漁協は、組合員向けに、漁期を短縮する可能性があることをお知らせしている状況で梅雨明け後の調査結果で判断する予定。今後予想される漁獲以外の減耗要因として、梅雨及び台風時期の豪雨による減耗と夏場の渇水に伴う高水温による大量減耗が危惧されるため、水量の確保に向けて関係者と協議する必要。
  - ・公共工事の環境配慮について、当協議会でも安田川などの視察も実施している。そういった取組がどのように反映されているか検証も必要。
  - ・昨年度、21世紀の森と水の会で物部川の現状を知らせるために、啓発素材を作成した。一般の方には、難しい内容ではあるが、21世紀の会員には、啓発素材を使って周知するようにしている。今後の啓発のため、協議会でも、わかりやすい普及啓発資料を作ってはどうか。
  - ・物部川清流保全推進協議会が推進している物部川清流保全計画に基づく取組は、水量や濁水など多くの分野にわたっている。当協議会だけでなく、他の協議会や計画が担っている部分もある中で横の情報共有など、当協議会の体制を見直す時期に来ているのではないか。
  - ・協議会の進め方で、総会だけに出席される方も多く、人事異動などがある中で、議論の内容がわかりにくい状況がある。県の産業振興計画で行っているような清流保全計画の全体像(現状、課題、将来像、取組など)がわかるA3用紙1枚程度の資料があるといい。
- 産業振興計画で利用しているような資料を新たに作成することは、多数の団体が関わっていることもあり7月4日の総会には間に合わないが、どのような資料が良いのか今後検討し、相談させていただきたい。